

保存版

～西会津町認知症支援ガイド～

認知症!?

その時どうする



西会津町

認知症を知ろう

早期発見

相談窓口

認知症の介護

各種サービス

認知症になっても
地域で暮らすために

事業所マップ

目次

はじめに ～認知症になっても安心して暮らせる町を目指して～	1
1. 認知症を知ろう	2
2. 認知症に早く気づこう	4
3. 認知症かな？と思ったら	6
4. 認知症介護の心得	7
5. こんな時はどうすればいいの？	8
6. 認知症の進行に合わせて受けられる支援の一覧表の見方	9
認知症の進行に合わせて受けられる介護サービスや支援	10
7. 認知症の人とその家族を支える各種サービスや支援	14
8. 認知症になっても地域で暮らすために	19
9. 事業所マップ	20

～認知症になっても安心して暮らせる町を目指して～

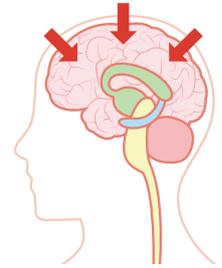
西会津町の高齢化率は県内でも上位に位置する超高齢社会を迎えています。誰もが人生の最期を迎えるまで自分らしくありたいと望む中、高齢化の進展に伴い『認知症』が深刻な社会問題のひとつとなっています。85歳以上の高齢者の約4人のうち1人に認知症の症状があると言われ、認知症の人は今後さらに増加していく傾向にあります。

認知症は病気の進行によって状態が変化するので、必要な医療や介護も状態によって異なってきます。この冊子は、皆さんが認知症のことを知り、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、相談窓口の連絡先や認知症の人の状態に合わせ、いつ・どこで・どのような医療や介護サービスを受けることができるかなどの情報がまとめてあります。認知症の人とその家族を地域全体で支え、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる西会津町をつくりましょう。

1. 認知症を知ろう

認知症とは？

「認知症」とは、誰もがかかる可能性がある脳の病気の一つです。様々な原因で脳が老化したり、脳の機能に異常が起きたりして、記憶力や判断力などに障害が生じ、生活する上で支障が出る状態をいいます。



主な認知症の種類

◇アルツハイマー型認知症

脳の神経細胞が徐々に減り、脳が縮んで小さくなるために起こる病気です。もの忘れが徐々に表れ、新しいことを覚えるのが難しくなります。時間や場所がわからなくなったり、不安やイライラなど様々な症状が見られることがあります。

◇脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などにより、脳の血管がつまったり破れたりすることで、神経細胞が壊れてしまうことによって起こる病気です。記憶障害や判断力の低下、涙もろくなるなどの症状が見られることがあります。脳梗塞や脳出血が再発するたびに症状が突然現れたりします。

◇レビー小体型認知症

『レビー小体』という特殊なたんぱく質が脳の中にたまることによって起こる病気です。もの忘れの他にも、幻覚や妄想・体の動きがぎこちなくなるなど身体に関する症状が見られることがあります。

◇前頭側頭型認知症

脳の前の部分や横の部分で神経細胞が減り、脳が縮んで小さくなることで起こる病気です。感情のコントロールができず暴力的になったりする「性格の変化」や、身だしなみに無頓着になったりという「生活上の行動変化」が症状に現れることがあります。

◇若年性認知症

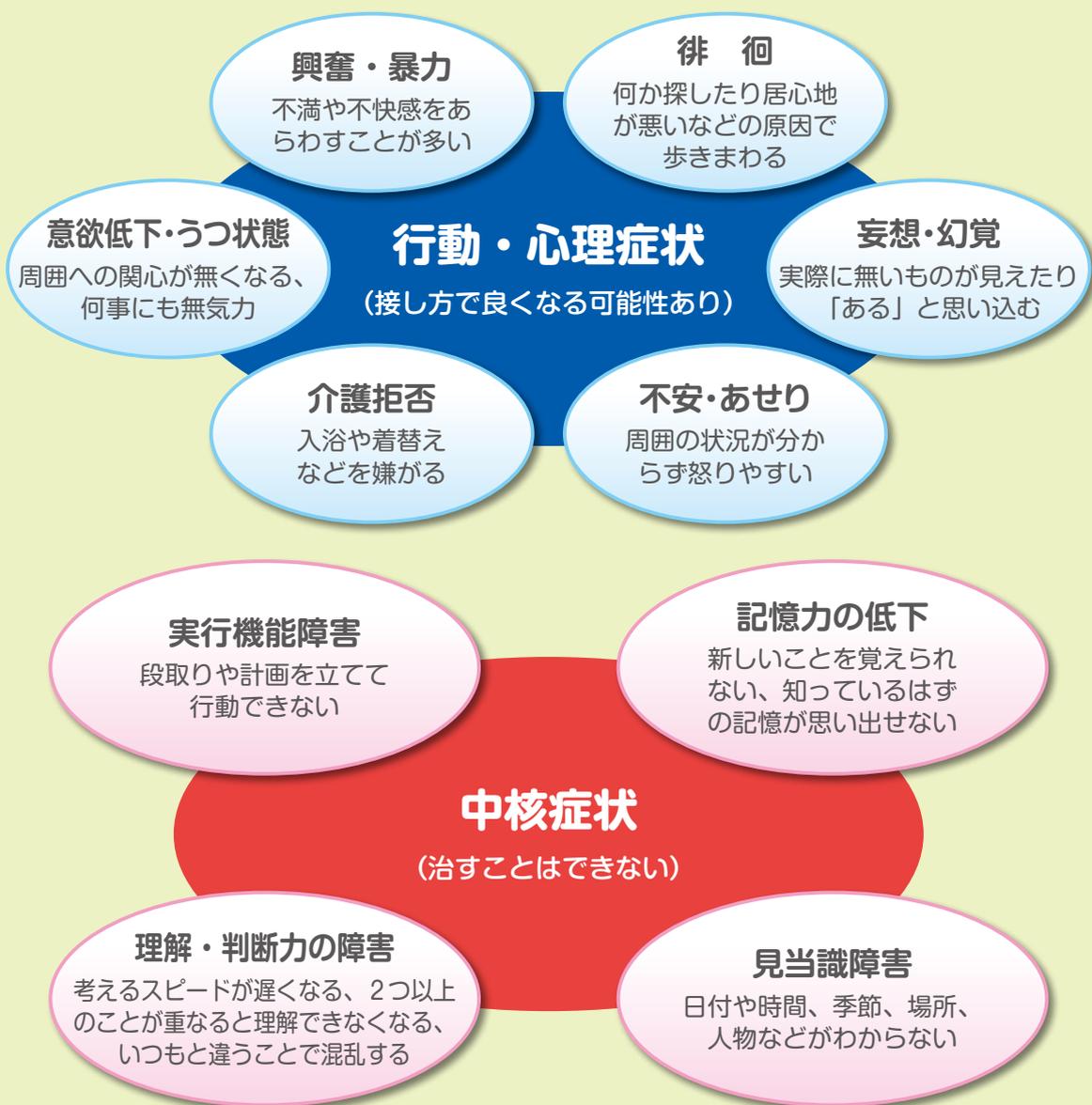
65歳未満の働き盛りの世代にも起こる認知症です。本人だけでなく家族の生活に与える影響は高齢者の発症に比べて大きく、社会的にも重大な問題となっています。

◇その他

アルコールを多量に飲み続けたことにより脳が縮んだり、栄養障害によって起こる『アルコール性認知症』や、頭部の病気やケガなどが原因で認知症のような症状がでる病気もあります。

認知症の症状

認知症の症状には2つの症状があります。脳の障害そのものである「**中核症状**」と、本人の心の状態や性格、生活環境や周囲の人の関わりなどによって起こる「**行動・心理症状**」があります。「**行動・心理症状**」は、認知症の人の身体の状態や不適切な介護や環境、介護者の介護疲れなど様々な原因が重なることで、本人の不安やストレスから出る症状ですので、周りの人の助けや接し方で良くなる可能性があります。



2. 認知症に早く気づこう

早期発見・早期受診



◇認知症は**早期受診・早期診断・早期治療**が重要です！

認知症は「年をとれば当たり前」「どうせ治らない病気だから病院に行っても仕方ない」と思わないで下さい。認知症は早期に発見すれば、その種類によって治療や薬で進行を遅らせることや、症状を軽くすることができる場合もあります。

◇早い時期に受診することの利点！

①治る病気や一時的な症状の場合もある

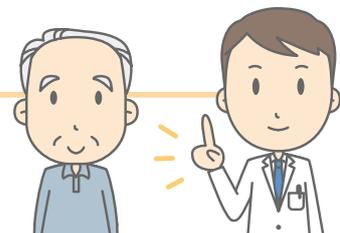
頭部の病気やケガなどが原因で認知症のような症状が見られる病気もあります。脳外科的な治療や内服などの内科的な治療で良くなるものもあります。また、薬の不適切な使用が原因で認知症のような症状が出る場合もあります。治る病気を見逃さないためにも、早期受診・早期治療を受けることが大切です。

②進行を遅らせることもできる

認知症初期に薬で治療することで、進行を遅らせることもあり、健康な時間を長くすることができます。治療によって「表情が穏やかになった」などの効果もみられることもあるため、早く治療を始めることが有効となります。血圧のコントロールなど他の病気の治療を行うことによって進行を防ぐことも期待できます。

③事前にさまざまな準備ができる

病気がことが理解できる時点で受診できれば、症状が軽いうちに本人や家族が話し合い、今後の治療方針を決めたり、利用できる制度やサービスを調べたりする「認知症に向き合うための準備」を整えることができ、本人らしい生き方をすることが可能になります。



チェックをしてみましよう

こんなことはありませんか？ 認知症は早期発見が大切です！

もの忘れが目立つ

- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所に戸惑う

- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10. 慣れた道でも迷うことがある

人格が変わる

- 11. ささいなことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗を人のせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- 18. 下着を替えず、身だしなみをかまわなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのもおっくうがり、嫌がる



(出典：公益社団法人認知症の人と家族の会「家族が作った認知症発見の目安」)

これは認知症の初期によくみられる症状ですが、チェックシートの結果はあくまでもおおよその目安で医学的判断に代わるものではありません。本人や家族の方で気になる症状に気付いたら、早めに地域包括支援センターやかかりつけ医に相談してみましよう。

3. 認知症かな？と思ったら・・・

気になることはまず相談

ひとりで悩まず、相談相手を見つけることが大切です。認知症が疑われた時や心配な時には、地域包括支援センターやかかりつけ医に相談しましょう。医師や相談窓口担当者に相談する時は、本人のこれまでの経過や要望などを相談相手に具体的に伝えることが、本人に合った医療や介護サービスを受けるための決め手となります。相談に行く前に相手に伝えたいことや相談したい内容をメモにまとめて持参しましょう。

【認知症に関する相談窓口】

にしあいづ地域包括支援センター

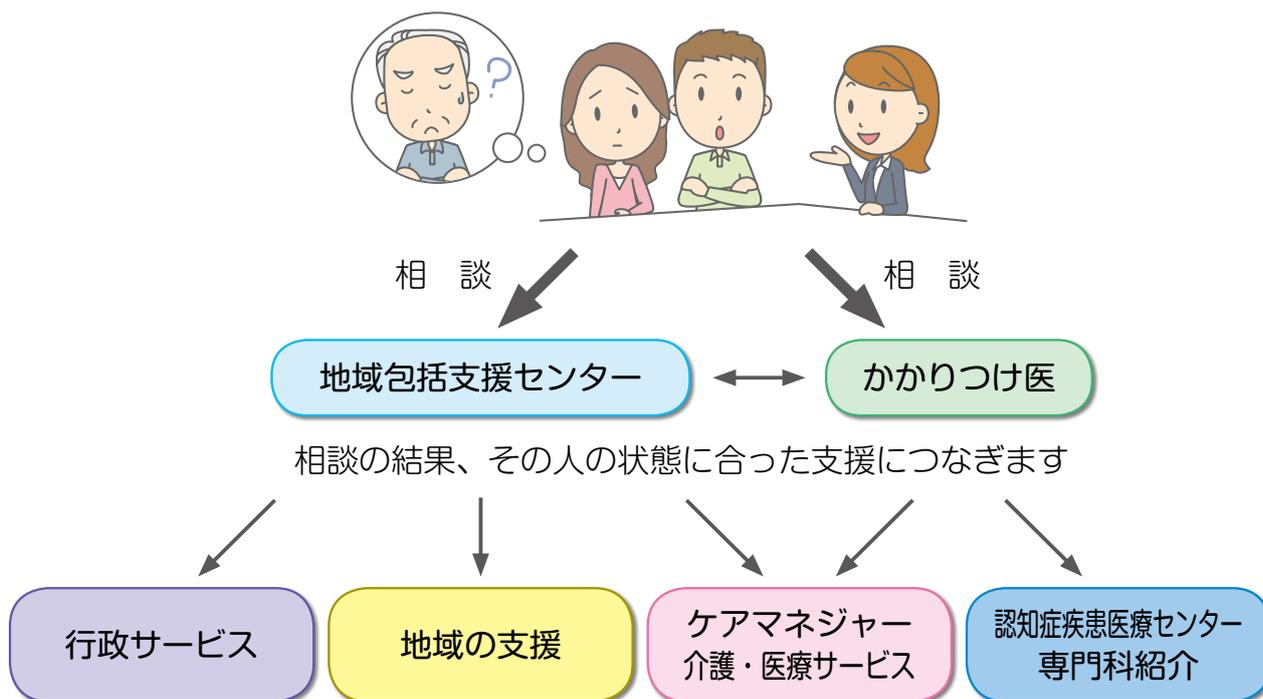
電話：0241-45-3327

月曜～金曜日：午前8時30分～午後5時30分

※土日祝日と年末年始を除く

～メモにまとめておきたい内容～

- 本人の経過（いつから、どんな症状や出来事が、どのくらい続いているか）
- 本人や家族が困っていること、求めていること
- 本人がこれまでかかった病名
- 本人が飲んでいる薬



4. 認知症介護の心得

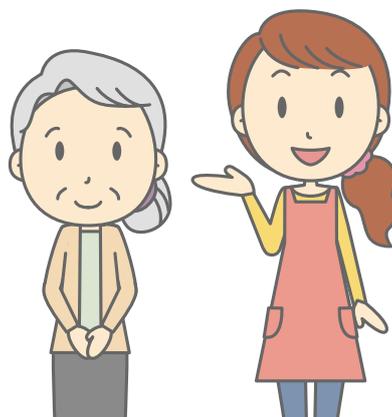
認知症の人の介護をするには、認知症のことを正しく理解していることが必要です。偏見を持たず、認知症は自分たちの問題であるという認識を持ち、認知症の人を支援するという姿勢が重要になります。

* 認知症の人と接する時に配慮したいこと

- 本人に近づいて相手の視野に入ってから、目を見て話かけましょう。
- 笑顔など、おだやかな表情で話しましょう。
- 伝わるように、わかりやすく、ゆっくりと話しましょう。
- 一度に多くのことを話すと混乱するので、1つずつ話しましょう。
- 言葉がすぐに出てこない時は、数呼吸待つ気持ちで聞きましょう。
- よくわからないことを話していても、うなずきや相づちで受け入れようとしている姿勢を示しましょう。
- 自尊心を傷つけない。子供あつかいしないようにしましょう。
- 何かする時は、言葉をかけながら行いましょう。

* やってはいけないこと

- 急に後ろから声をかける。
- 大声を出す。
- 厳しい顔や困った顔を示す。
- 急に腕をつかんだり、体に触る。
- 数人で取り囲む。
- 早口でいくつも質問したり、指示する。
- 何も言わずに行動する。



参考：「知っておきたい認知症の人との接し方」

5. こんな時はどうすれば良いの？

～認知症の人と上手に関わっていくために～

事例1 今日は何曜日？ご飯まだ？など何度も同じことを聞いてくる（もの忘れ）

新しいことが覚えられなくなり、何度も同じことを尋ねます。
状況が理解できなく不安な気持ちの場合があるので、一方的に怒ったり否定すると、不安や戸惑いがさらに大きくなります。

【対応例】

- ①初めて聞かれた時と同じように対応する（役者になろう）
- ②メモに書いて伝えたり、日めくりカレンダーや新聞などを活用する
- ③お茶を出すなどして気分転換をはかる
- ④介護者もリフレッシュサービスや家族会などに参加し、他の介護者の対応を参考に
にする



事例2 食事や入浴などの介護を拒否する（介護拒否）

本人にとっては嫌なこと・不安なことになっている可能性があります。体調が悪かったり、着替えることが面倒になっているなど、原因はその人によって異なりますが、無理強いをすると逆効果になることがあります。

【対応例】

- ①無理強いしたり、過剰に反応しない
- ②本人の言葉に耳を傾け、なぜ拒むのか本人なりの理由を考えてみる
- ③1日の暮らし方や、食事・入浴の前後の流れを見直し、本人が「食べたい」「お風呂に入りたい」と思えるようなシナリオを考えてみる
- ④介護サービスなどの利用を相談してみる



事例3 歩きまわる、道に迷う（徘徊）

徘徊の原因は、本人なりの理由があります。無理に引き止めるのではなく、安心できるような説明をしましょう。

【対応例】

- ①徘徊のルートを知る
（本人が何を目的に歩くのか、その理由を知る）
- ②本人と一緒に歩き、話をしながら気分転換をはかる
- ③衣服や持ち物に名前や連絡先を記入する
- ④近所や地区内・関係者にも協力をお願いする



6. 認知症の進行に合わせて受けられる支援の一覧表の見方

次のページの『認知症の進行に合わせて受けられる介護サービスや支援』は、認知症の進行状態に合わせ、いつ・どこで・どのようなサービスが利用できるのかを一覧表にしたものです。本人・家族を中心に地域生活を送るために困った時の相談先や身近な地域支援、その先に利用できる医療や介護サービスが記載されています。認知症の進行度合いを横軸で確認し、その時点でどんなサービスや支援を受けることができるかを縦軸で見つけます。

認知症の進行		気づき～軽度	中度	重度	
認知症の進行と症状	認知症の疑い	認知症はあるが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
サービスの種類	もの忘れはあるが金銭管理や買い物は日常的に問題ない	買い物や金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ問題ない	薬の飲み忘れがある、電話や訪問者の対応等が1人では難しい	道に迷ったり、着替えや食事、トイレ等がうまくできない	歩くことも難しくなり、ほぼ寝たきりで会話も成り立たない
相談	相談窓口				
家族支援	横軸 認知症の代表的な症状の例です。				
介護予防・悪化予防					
他者とのつながり支援	認知症の人の状態に応じて利用できる各種サービスや支援です。種類ごとに色別で記しています。				
安否確認・見守り	見守り支援・予防				
仕事・役割支援					
生活支援	行政サービス・制度				
身体介護					
医療	医療機関・医療系サービス				
緊急時支援（精神症状がみられる等）					
住まい	縦軸 生活などの場面ごとに必要な支援・サービスを分類しています。				
グループホーム・介護保険施設サービス	介護保険サービス				

※認知症の度合いと各種サービスの関係は、あくまでも標準的な目安です。本人の状態に応じたサービスの組み合わせを制限するものではありません。本人の状態に合った医療や介護サービス、その他様々なサービスを検討していく為にも、**一番大事なことはまず相談をすることです。**

認知症の進行に合わせて受けられる介護サービスや支援 <西会津町>

右にいくほど発症から時間が経過し、進行している状態

認知症の進行

気づき ~ 軽度

サービスの種類	認知症の進行と症状	認知症の疑い	認知症はあるが日常生活は自立
		もの忘れはあるが金銭管理や買い物は日常的に問題ない	買い物や金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ問題ない
相談			
		健康福祉課	
家族支援			
介護予防・悪化予防		老人クラブ	
		サロン	
		ミニデイサービス	
他者とのつながり支援		老人クラブ	
		サロン	
		ミニデイサービス	
安否確認・見守り			
		在宅健康管理システム	
仕事・役割支援		老人クラブ	
		サロン	
		ミニデイサービス	

＜介護保険事業計画の基本目標＞
いつまでも安心して暮らせる高齢者にやさしいまちづくり

中度

重度

誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
薬の飲み忘れがある、電話や訪問者の対応等が1人では難しい	道に迷ったり、着替えや食事、トイレ等がうまくできない	歩くことも難しくなり、ほぼ寝たきりで会話も成り立たない
地域包括支援センター		
介護支援専門員（ケアマネジャー）		
認知症家族の会・認知症コールセンター		
リフレッシュサービス		
デイサービス（通所介護）		
デイケア（通所リハビリテーション）		
小規模多機能（通所・訪問・宿泊サービス）		
デイサービス（通所介護）		
デイケア（通所リハビリテーション）		
小規模多機能（通所・訪問・宿泊サービス）		
ご近所・地域見守りネットワーク		
老人クラブ		
民生委員		
福祉協力員		
認知症サポーター		
緊急通報システム		
デイサービス（通所介護）		
デイケア（通所リハビリテーション）		
小規模多機能（通所・訪問・宿泊サービス）		

認知症を知ろう

早期発見

相談窓口

認知症の介護

各種サービス

認知症になっても地域で暮らすために

事業所マップ

認知症の進行

右にいくほど発症から時間が経過し、進行している状態

気づき ~ 軽度



認知症の進行と 症状 サービスの種類	認知症の疑い もの忘れはあるが金銭管理や買い物は日常的に問題ない	認知症はあるが日常生活は自立 買い物や金銭管理等にミスがみられるが、日常生活はほぼ問題ない
生活支援	シルバー人材センター (家事援助)	配食サービス あんしんサポート
身体介護		
医 療		
緊急時支援 (精神症状がみられる等)		
住 ま い	高齢者生活支援ハウス	
グループホーム・ 介護保険施設サービス		介護付有料老人ホーム「しなのきホーム西会津」

中度

重度

誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
薬の飲み忘れがある、電話や訪問者の対応等が1人では難しい	道に迷ったり、着替えや食事、トイレ等がうまくできない	歩くことも難しくなり、ほぼ寝たきりで会話も成り立たない
訪問介護（ホームヘルパー）		
デイサービス（通所介護）		
デイケア（通所リハビリテーション）		
小規模多機能（通所・訪問・宿泊サービス）		
成年後見制度		
訪問介護（ホームヘルパー）		
デイサービス（通所介護）		
デイケア（通所リハビリテーション）		
小規模多機能（通所・訪問・宿泊サービス）		
紙オムツ等給付事業		散髪料給付事業
かかりつけ医		
歯科医		
薬局		
認知症疾患医療センター		
訪問看護		
認知症疾患医療センター		
竹田総合病院・会津中央病院等		
小規模多機能（通所・訪問・宿泊サービス）		
「さゆりの園」ショートステイ		
「憩の森」ショートステイ		
認知症グループホーム「のぞみ」「桐」「おとめゆり」		
介護老人保健施設「憩の森」		
特別養護老人ホーム「さゆりの園」		

認知症を知ろう

早期発見

相談窓口

認知症の介護

各種サービス

認知症になっても地域で暮らすために

事業所マップ

7. 認知症の人と家族を支える各種サービスや支援

認知症になっても住み慣れた自宅や地域での暮らしを支える相談窓口や、様々な制度やサービス・取り組みがあります。ここでは、『認知症の進行に合わせて受けられる介護サービスや支援』の一覧表に載っている各種サービスや制度の内容・連絡先をご紹介します。

認知症に関する相談窓口

<にしあいづ地域包括支援センター>

高齢者の暮らし・健康・介護など、様々な相談に応じながら高齢者の生活を支える総合相談窓口です。認知症の人や家族だけでなく、近所に住んでいる気になる方の情報や相談など幅広く応じています。

相談は無料で秘密は厳守されます。自宅へ伺っての相談も可能です。お気軽にご相談下さい。

【問合せ先】 45-3327（西会津町介護センター内）

<西会津町役場 健康福祉課 福祉介護係>

介護認定の申請や医療・障害など、各種制度や行政サービスの相談手続きを行っている行政の相談窓口です。

【問合せ先】 45-2214（本庁舎）

<西会津町役場 健康福祉課 健康支援係>

元気な高齢者になるべく要介護状態にならないようにするために、介護予防の各種事業や健康相談・家庭訪問による指導などを行っています。

【問合せ先】 45-4532（南庁舎）

<認知症の人と家族の会>

認知症の方を介護している家族が集まり、相談や情報交換・勉強会などを行っています。電話相談もあります。

【問合せ先】 0242-24-2450（会津地区会）

<福島県認知症コールセンター>

認知症介護の経験者が、認知症の症状・行動への対応の仕方や、認知症の介護における悩みなど様々な相談に応じています。

【問合せ先】 024-552-1122

<若年性認知症コールセンター>

専門教育を受けた相談員が、働き盛り世代の65歳未満で発症した若年性認知症の方とその家族一人ひとりの状態に応じた相談支援を行っています。

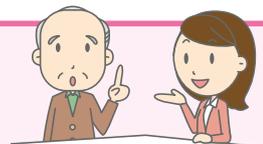
【フリーダイヤル】 0800-100-2707

介護保険サービス

<介護支援専門員（ケアマネジャー）>

介護が必要な方が適切にサービスを利用できるよう、日常生活や介護保険サービスの相談に応じています。

【問合せ先】 45-2688（西会津町居宅介護支援事業所：西会津町介護センター内）



<訪問介護（ホームヘルパー）>

ホームヘルパーが自宅を訪問し、食事や入浴・排泄などの身体介護や、調理・買い物・掃除・洗濯などの生活援助が受けられます。

【問合せ先】 48-1822（西会津町訪問介護事業所：西会津町介護センター内）

<訪問看護>

看護師などが自宅へ訪問し、主治医と連絡をとりながら、病状のチェックや療養生活に必要なお世話、リハビリなどが受けられます。

【問合せ先】 48-1334（西会津町訪問看護事業所：西会津診療所内）

<デイサービス（通所介護）>

デイサービスセンターに通い、食事や入浴などの介護や身体機能維持のための機能訓練が日帰りで受けられます。

【問合せ先】 48-1581（さゆりの園デイサービスセンターⅡ）



<デイケア（通所リハビリテーション）>

介護老人保健施設で身体機能回復・向上を目的としたリハビリと、食事や入浴などの介護が日帰りで受けられます。

【問合せ先】 45-4231（「憩の森」通所リハビリテーション）

<小規模多機能型居宅介護（通所・訪問・宿泊サービス）>

施設への「通い」を中心として、短期間の宿泊や自宅への訪問などを組み合わせて、食事や入浴などの多機能なサービスが受けられます。

【問合せ先】 48-1101（小規模多機能型居宅介護事業所 西会津しょうぶ苑）

<ショートステイ（短期入所）>

自宅から介護保険施設に短期間入所して、食事や入浴などの介護や機能訓練・リハビリなどが受けられます。

【問合せ先】 45-2921（特別養護老人ホーム「さゆりの園」ショートステイ）
45-4231（介護老人保健施設「憩の森」ショートステイ）

<認知症グループホーム>

認知症の高齢者が共同生活をする住居で、家庭的な環境と地域住民との交流の下、食事や入浴などの日常生活上の支援や機能訓練などが受けられます。

【問合せ先】 48-1583（グループホームのぞみ）
48-1102（グループホーム桐）
48-1103（グループホームおとめゆり）



<介護付き有料老人ホーム>

高齢者が暮らしやすいように配慮した住居で、自宅での生活が困難になった高齢者が入所し、必要な生活支援や介護サービスが受けられます。

【問合せ先】 45-2866（しなのきホーム西会津）

<介護老人保健施設>

病状が安定した人の在宅復帰を支援するために、リハビリを行いながら医療上の手助けや、日常生活の支援が受けられます。

【問合せ先】 45-4231（介護老人保健施設「憩の森」）

<特別養護老人ホーム>

常に介護が必要で自宅での生活が困難な人が入所し、食事や入浴・排泄などの日常生活上の介護や機能訓練、療養上の支援などが受けられます。

【問合せ先】 45-2921（特別養護老人ホーム「さゆりの園」）

※介護保険サービスを利用するためには、「介護や支援が必要である」と認定（要介護認定）される必要があります。介護度により対象となるサービスの種類も異なります。
詳しい内容は、地域包括支援センターや担当のケアマネジャーにお尋ね下さい。

地域の支援

<老人クラブ>

明るい長寿社会をつくるために、高齢者の知識と経験を生かし、『伸ばそう健康寿命 担おう地域づくり』をスローガンに生きがいと健康づくり・社会参加活動などを行っている自主的な組織です。

【問合せ先】 45-4259（西会津町老人クラブ連合会事務局）

<サロン>

身近な地域の中で開催されている集いの場です。運動や学習・お茶のみなど地域の人たちとの交流を通じて、お互いの安否確認や介護予防、生きがいづくりの活動をしています。

【問合せ先】 45-4259（西会津町社会福祉協議会）

<認知症サポーター>

認知症サポーター養成講座を受講した住民の方で、認知症についての正しい知識や対応の仕方について学び、地域の中で認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

講座を受講し認知症サポーターとなった方には「オレンジリング」をお渡ししています。

【問合せ先】 45-3327（にしあいつ地域包括支援センター）

45-4259（西会津町社会福祉協議会）

45-2214（健康福祉課 福祉介護係）



※老人クラブやサロン活動は自治区によって異なります。詳細についてはお問い合わせ下さい。

医 療

<かかりつけ医>

日頃の定期的な検査や病気の初期・慢性疾患の治療の他、健康相談や緊急時の対応なども相談できます。

大きな病院に紹介が必要な時も病歴や使用している薬など、適切な情報を紹介先の病院に伝えてくれます。

通院できない時は往診してくれる医療機関もありますので、かかりつけ医に相談しましょう。

<かかりつけ歯科医>

口の状態は全身の健康状態と深く関係し、低下すると介護が必要な状態になりやすくなります。

元気なうちから口の健康を守ることが大切です。認知症が重度になり通院できない場合は、訪問歯科診療などができる場合もありますので、かかりつけ歯科医へ相談しましょう。



<認知症疾患医療センター（竹田総合病院）>

福島県から指定を受け、かかりつけ医や地域包括支援センターと連携して、認知症に関する鑑別診断や専門医療相談などを行います。

【問合せ先】 0242-29-3808

<さゆり調剤薬局・こゆり調剤薬局>

薬剤師が一人ひとりに合わせた投薬や薬の管理について説明・相談に応じます。必要に応じて自宅への訪問指導も行っています。

【問合せ先】 48-1081（さゆり薬局：西会津診療所前）
47-7013（こゆり薬局：群岡診療所前）



行政サービス

<在宅健康管理システム>

血圧のコントロールや、心電図管理を目的に、生活状況・食事管理・運動などの日常生活について医師・保健師等より助言が受けられます。

【問合せ先】 45-4532（健康福祉課 健康支援係）

<配食サービス>

65歳以上のひとり暮らしの高齢者や65歳以上の高齢者のみの世帯などに、栄養バランスの取れた食事を提供し、配達ボランティアの協力のもと安否確認を行っています。

【問合せ先】 45-2214（健康福祉課 福祉介護係）



<緊急通報システム>

ひとり暮らしの高齢者世帯などへ、日常生活の緊急事態における不安を解消するため、ボタンを押すと緊急連絡がとれる通報用電話を設置（貸し出し）します。

【問合せ先】 45-2214（健康福祉課 福祉介護係）

<あんしんサポート（日常生活自立支援事業）>

認知症などにより判断能力が不十分な方を対象として、地域で自立した生活が送れる様に福祉サービス利用援助や預貯金の出し入れ、書類等の預かりといった支援を本人との契約により行う事業です。

【問合せ先】 45-4259（西会津町社会福祉協議会）

<成年後見制度>

認知症などによって判断能力が低下した人に代わり、契約や財産管理などの法律行為を援助する法定代理人（成年後見人等）が本人の能力に応じた援助により権利を守る制度です。

【問合せ先】 45-3327（にしあいづ地域包括支援センター）
45-2214（健康福祉課 福祉介護係）

<在宅介護者リフレッシュサービス事業>

在宅で生活する寝たきり高齢者などを常時介護している家族の介護負担軽減を目的に、ロータスインの日帰りサービスや食事券・理美容券・ショートステイ券などを交付し、家族の在宅介護を支援します。

【問合せ先】 45-2214（健康福祉課 福祉介護係）

<在宅高齢者等福祉サービス>

在宅で生活している寝たきりや認知症の人の福祉の増進を図ることを目的に、町内の商店で利用できるオムツ購入券や散髪券などを交付し、在宅生活を支援します。※対象者など一部条件があります。

【問合せ先】 45-2214（健康福祉課 福祉介護係）

<シルバー人材センター（家事援助）>

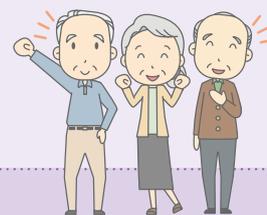
家事手伝いや掃除などの家事援助を介護保険外サービスとして有料で受けられます。

【問合せ先】 45-2750（西会津町シルバー人材センター）

<ミニデイサービス>

おおむね60歳以上の高齢者等で介護保険を申請した際、要支援と認定された方と生活機能アンケートによりミニデイサービスが必要と判断された方を対象に要介護状態にならないよう皆で集まり、介護予防体操や楽しい交流活動を行っています。

【問合せ先】 45-4259（西会津町社会福祉協議会）



<奥川元気クラブ(ミニデイサービス)>

介護保険サービスを利用していない奥川地区の65歳以上の方を対象としたミニデイサービスです。地元奥川の若い人たちがお世話役なので、なじみの顔で気軽に参加できます。

【問合せ先】 45-2214（健康福祉課 福祉介護係）

<高齢者生活支援ハウス>

日常生活において、概ね自立している西会津町に住所があるひとり暮らしや夫婦のみ世帯の人、家族の援助を受けることが難しい人が、冬期間など入居できる介護保険対象外の施設です。

【問合せ先】 48-1582（高齢者生活支援ハウス）
45-2214（健康福祉課 福祉介護係）

8. 認知症になっても住み慣れた地域で暮らすために

誰もが認知症になる可能性があります。西会津町には、認知症の人を支える様々なサービスや制度もありますが、医療や介護サービスだけでは認知症の人やその家族を支えていくことは困難です。**認知症の人が住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けていくためには、地域の「支え合う力」がもっとも重要です。**

そのため、家族だけでなく地域の方々も認知症の正しい知識を学び、認知症の人や家族を温かく見守っていくことが必要です。さらに、認知症になっても住みやすい町をつくるためには、商店や公共機関・金融機関など、地域で働く人も含めて、正しく認知症を理解することが大切です。



日常に関わる人の正しい理解と協力は、認知症の人にとって大きな支えとなるだけでなく、誰もが認知症になっても安心して自分らしく暮らせる、すべての人にやさしいまちづくりにつながります。

認知症サポーターになりましょう

認知症サポーターとは、認知症について正しい知識を持ち、地域や職場で認知症の人とその家族を温かく見守る『応援者』です。

認知症サポーターにできること…

何か特別な活動をするということではありません。

近所に住んでいる認知症の人に困っている様子が見られたら、やさしく声をかけたり、買い物や支払いでお金を出すのに時間がかかってしまう時に、急がせずに対応するなど、自分に何ができるか考え、できる対応を試してみましょう。

認知症サポーターになるには…

「認知症サポーター養成講座」（90分）を受講すれば、どなたでも認知症サポーターになることができます。

町には約2千人の認知症サポーター養成講座修了者がいます。自治区や職場・学校・各種団体などの集まりにあわせて講座を行っています。

受講者には、認知症サポーターの証「オレンジリング」を配布しています。

対象者に合わせた日時や内容などにもご相談に応じています。

認知症サポーター養成講座開催をご希望の際は下記へお問い合わせください。



認知症サポーターの印

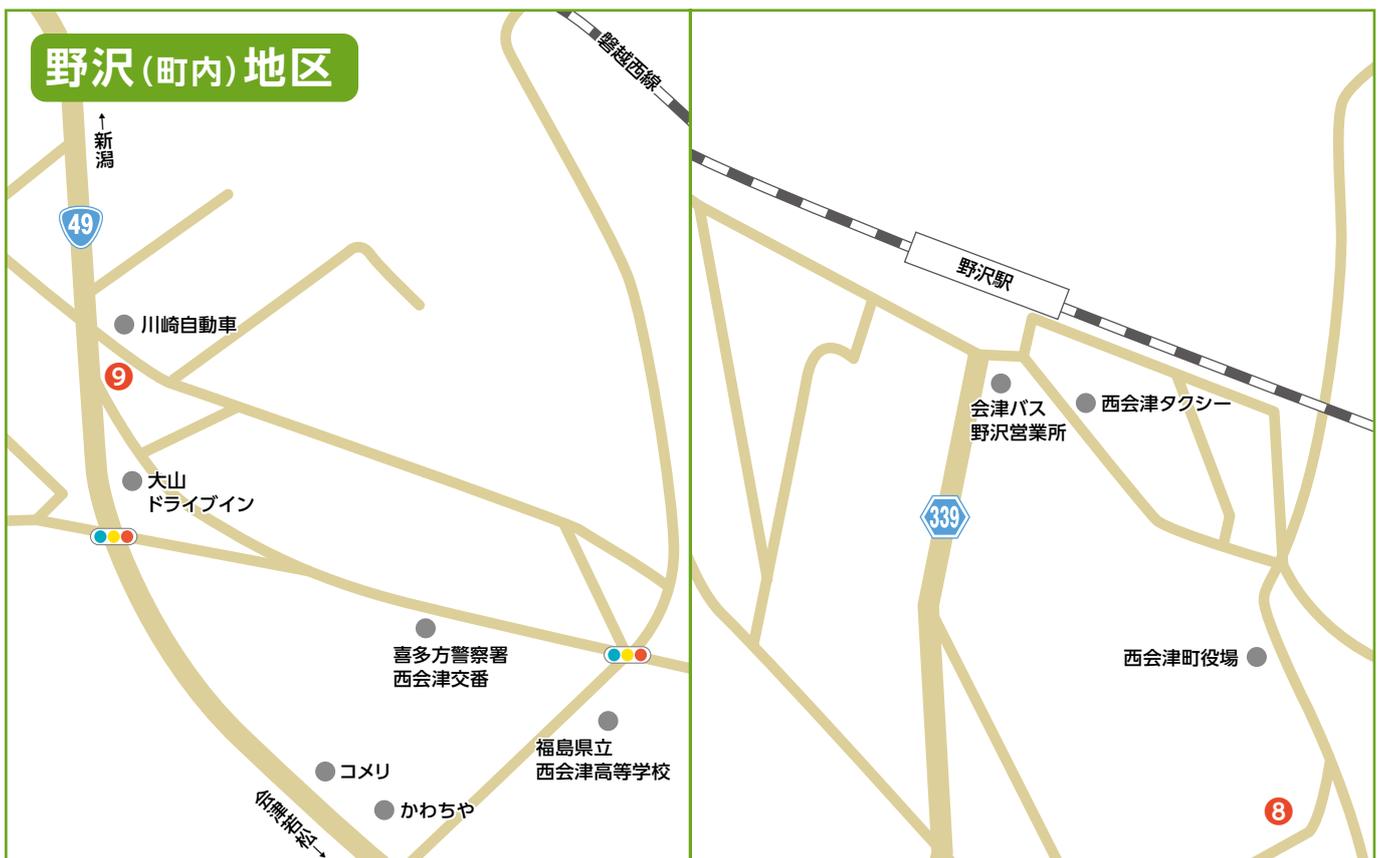


にしあいづ地域包括支援センター	電話：45-3327
西会津町社会福祉協議会	電話：45-4259
西会津町役場健康福祉課 福祉介護係	電話：45-2214

9. 事業所マップ



- ① 西会津町介護センター
 - にしあいづ地域包括支援センター
 - 西会津町居宅介護支援事業所
 - 西会津町訪問介護事業所
- ② 特別養護老人ホーム「さゆりの園」
- ③ 介護老人保健施設「憩の森」・「憩の森」通所リハビリテーション
- ④ さゆりの園デイサービスセンターⅡ・高齢者生活支援ハウス
- ⑤ グループホームのぞみ
- ⑥ 西会津町訪問看護事業所
- ⑦ さゆり調剤薬局
- ⑧ 西会津しょうぶ苑
 - 小規模多機能型居宅介護 西会津しょうぶ苑
 - グループホーム桐
 - グループホームおとめゆり
- ⑨ 介護付き有料老人ホーム「しなのきホーム西会津」





わが家の連絡相談先メモ

わが家	<住所>			☎

	<家族や親族の電話番号>			
	●名前	☎	●名前	☎
	●名前	☎	●名前	☎
	●名前	☎	●名前	☎

かかりつけ医	<医療機関名>			☎

<担当医師名>				

相談窓口	<地域包括支援センター>		
	にしあいづ地域包括支援センター	☎	45-3327

<役場>			
西会津町役場 健康福祉課 (福祉・介護・国保係)	☎	45-2214	
(健康支援係)	☎	45-4532	

その他の連絡先	<名称>	<住所・電話番号>
		☎
		☎
		☎
		☎
		☎
		☎



西会津町認知症支援ガイド

平成28年3月発行

-
- 発行 / 西会津町役場 健康福祉課
電話 / 0241-45-2214
編集協力 / 西会津町老人クラブ連合会、西会津町民生委員協議会、
西会津町社会福祉協議会、西会津町シルバー人材センター、
にしあいづ福祉会、西会津しょうぶ苑、しなのきホーム西会津、
さゆり・こゆり調剤薬局、西会津診療所
編集 / にしあいづ地域包括支援センター
〒969-4401 西会津町登世島字田畑乙2042-89
電話:0241-45-3327 FAX:0241-45-2695